

平成 25 年度 地域の“まちづくりびと”養成講座（入門編） 中村で“なかまっち”する！？

五歩「まちの未来を語ろう～プレゼンテーション」

～でらかわらばんの完成、参加者の主体的活動にむけて～

日時：平成 25 年 11 月 17 日（日）

講座 13 時 15 分～16 時 45 分

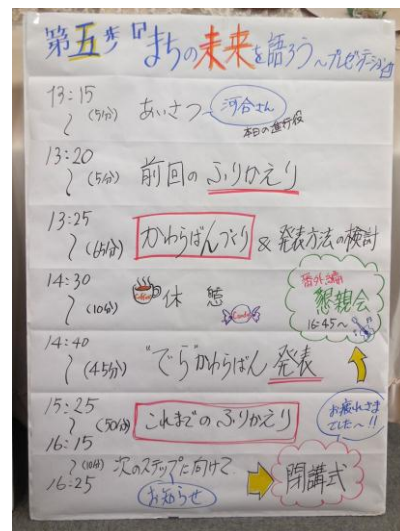
懇親会 16 時 45 分～17 時 45 分

場所：千成コミュニティセンター

まだ残暑厳しい 9 月の中旬から行われていた講座「中村で“なかまっち”する！？」もいよいよ最終を迎えました。

本日のプレゼンテーションは、そのクライマックスで、チームごとに参加者が考えたプレゼンテーションを発表します。

すでに、11 時ころから集まっているグループもあり、開始時には各チームのプレゼンテーションの準備が着々と進められていました。



はじめに

すでに作業をすすめているグループも多いなか講座がスタートしました。

前回の続きということで、「でらかわらばん」の作成作業中の手を一旦とめて講師の説明を傾聴！

発表方法や今日のスケジュール、親睦会のことなどを講師が説明しました。

講座を通して、「傾聴」という言葉にも慣れて、相手の話を関心をもって聴くことと作業のメリハリが自然に受講生に浸透してきた印象を受けました。

説明のあとは、再び発表に向けての作業へ。

決められた時間内で、よりよい提案の「でらかわらばん」ワークを完成させるために受講生も、あとひと頑張りです。

外の寒さとは裏腹に熱気が会場を包んでいました。



グループワーク 「でらかわらばん」完成と発表方法の検討

「でらかわらばん」づくりの作業もいよいよ大詰めです。構成も提案もすべてチームで検討して作成していき、発表はチームのすべてのメンバーが必ずどこかの部分で発表するように講師から伝えられているので、発表の役割分担も決めていきます。

決められた時間内で、たくさんの検討をしながら意見をまとめて形にしていくという作業は大変な面もありましたが、講座の中で同じテーマを追いかけた仲間同士、クライマックスの「でらからわばん」の発表に向け、受講生のまちづくりへの具体的な思いも高まり、会場は活気に包まれていました。



プレゼンテーション(発表会) 「でらかわらばん」の発表！

いよいよ各チームより集大成の「でらかわらばん」の発表です！

プレゼンテーションには地元に関係するゲストにも見ていただきます。

ゲストは、中村区長、豊国神社の宮司さんや地元の各学区の区政協力委員長の方々にお越しいただきました。

各チーム発表のあとは、かわらばんの内容について自分のグループ以外の人たちから良かったところを出してもらう「ほめまくりタイム！」もあり、皆の成果をたたえて共有しました。



ゲストの皆さん

■中村で“なかまっち”「でらかわらばん」の提案■

■ひでっち きよっち なかまっち

“秀吉・清正の生誕の地としての歴史

を活かした活気と賑わいづくり”

- ・ 歴史情報を秀吉清正記念館に集約
- ・ 競輪場の活用
- ・ 秀吉・清正を身近に感じられるように公園の名称変更
- ・ 駅から公園までの参道を歴史っぽい雰囲気にする
- ・ 秀吉・清正にちなんだ名物料理、地ビールなどを開発
- ・ 秀吉の出世にちなんだ日本一の稚児行列・七五三を行う



ひでっち きよっち なかまっち

■優しさの天使達～天道虫とおとよさん

“誰でも安心安全で快適な中村公園・参道づくり”

- ・ 清正公通りを自転車道化
- ・ 参道や駐輪場の整備
- ・ 音大があるので参道や貸スタジオを活かしたまちかど音楽や演劇練習館アクテノンで芸術のまち活動を行う
- ・ 競輪場を廃止し、芝生広場にしたりマンションをつくる



優しさの天使達～天道虫とおとよさん

■中村公園愛し隊

“歴女二人「中村八景」を訪ねる”

- ・ 中村公園を太閤公園に名称変更
- ・ 秀吉・清正記念館のテーマパーク化
- ・ 中井筋、日赤、大門の街なみ整備（歩行者・サイクリングロードなど）
- ・ 大門夏まつりを発展させて屋台村・チンドン屋さん大会を開催
- ・ ボランティアを活用したイベントを行う
- ・ （九の市ガールズ、福祉人力車など）



中村公園愛し隊

■アホくさトロくさドンくさみんなとつながる

なかむら WA・WA・WA の会

“交流は世代の垣根こえて行く

楽しいなかま未来につなぐ”

- ・ 中村公園を第二の家とか庭のようにしたい
- ・ 地域住民が気軽に集える憩いの場にする
- ・ 年間を通しての行事を行う
- ・ 新年のお正月あそび
- ・ 花祭り（桜を見ながら宴会）を開催
- ・ 小さな花火大会を開催
- ・ 紅葉の鑑賞とやきいもイベント開催



アホくさトロくさドンくさ
みんなとつながる なかむら WA・WA・WA の会

■ひょうたんズ

“号外！秀吉公園誕生～ひょうたんズニュース”

- ・ 中村公園を秀吉をクローズアップした秀吉公園に改名
- ・ 大門で遊郭の一日復活まつり開催
- ・ 参道を秀吉の愛したゴボウをフューチャーしたゴボウストリートにする
- ・ 中村公園一帯を市営バスのメーグルの新ルートにする



ひょうたんズ

中村区長より



各チームのプレゼン発表のあとは中村区長より、メッセージがありました。

「区長として物を言うとい固い役人的なお話になるので、立場を離れてお話しさせていただきます。

これだけたくさんの方に中村区、中村公園に興味を持って頂き、「何とか良くしよう」とたくさんのアイデアをまとめて頂き感謝いたします。

名古屋でも熱田などはもともと知名度もあり、今あるもの自体も全国的にあって各自やっていくのに行政的にもやりやすいのですが、中村区は秀吉や清正、中村公園など財産としては良いものがあるが、なかなかうまく出せていない状況です。

第一歩として、たくさんの方に興味を持っていただくことが必要だと思います。

明日からできるアイデアから夢など、だいた先だろうなと思いつつも聞かせていただきました。

一歩目を何から踏み出すのかというと、こういったところで広がりが見られることが今一番大事なことだろうと思います。たくさんアイデアを出していただきありがとうございました。

行政から離れて個人的にも中村区は好きなので、その好きなところが発展していくことはありがたいことです。是非この先、何でもよいので活動に踏み出してもらえたいことの期待を申し上げて挨拶とさせていただきます。」

講師ふりかえり

“なかまっち”になぞらえて講師の葛山さんが、ふりかえりをまとめました。

①なにを伝えたいのか？どのように構成するのか？生みの苦しみがあったのかなと思います。

②かぎられた時間の中で役割を決め、よくまとめあげた。

③はじめに楽しく（自己主張し過ぎず、合意形成する難しさ）

④めこみ過ぎず、バランスよくまとめる

⑤いきのこと、歴史のこと、人のことがまちづくりのベースだと思います。

一分間スピーチ

今度は受講生ひとりひとりが、講座をふりかっ
て一分間スピーチです

人との関わり、異なった意見をまとめていく難し
さ、楽しくやることの大切さ、これからの“中村”
のまちづくりへの思いが受講生の口々から語られま
した。



閉講式

いよいよ講座も大結めの閉講式となりました。

まず、はじめに講師の葛山さんから講座全体の講評がありました。

「皆さま 5 回の講座、お疲れ様でした。お忙しい中、参加をしていただき
ありがとうございました。

この講座は平成 17 年度から始まり今年で 9 回目です。まちに関する資料
や地域の話の聞いたり、実際にまち歩きをして、まちのことを知ろう、そ
れをふまえて何ができるかを考えて行く「入門編」でしたが結構難しいこ
ともあったかもしれません。

各回の講座は、3 時間半という長丁場の中で、特に 3 回目は丸 1 日、朝か
ら夕方まででした。内容也多岐にわたっていたので苦労した面もあるのか
なと反省しています。

ワークショップを初めてされた方や何回も経験された方、様々な方がいらっしやいました。グループに
よる話し合いの中で、自分の意見の主張も大事ですが、人の意見を聴く「傾聴」をし、折り合いをつけ合
意形成をすることがグループワークの特徴です。大きい会場で手を上げる人、声の大きい人の意見が通る
のではなく、少数のグループで自分の意見を出し合い、話をまとめていくという方法が近年のワークショ
ップの主流です。

こうした「アイスブレイク」や「KJ 法」、「アイコン」や、「かわらばんづくり」など、方法論は基本
的なものとしてとらえて持ち帰っていただければよいと思います。物事を考えるに当たり色々な考えを
持った人が集まり話し合っていくことがまちづくりを行っていくうえで非常に重要であるということ
をお伝えしたかったのです。最後は素晴らしい“かわらばん”ができました。どれも甲乙つけがたく内容に
ついては、素晴らしいもので、5 回という限定された時間でしたが、集中して学んでいただけたのではな
いかと思います。

まちづくりは、「なかまづくり」が基本にあります。今回の講座を通してたくさんの仲間ができたと思
いますが、今度は皆さんが自主的にまちづくりに関わっていきえるようになって行くといいと思います。私
自身が講座の講師をやるのが初めてで、不慣れな部分があり、迷惑をかけたと思いますが、それをカバー
していただきました都市センターの皆さん、中村区役所の方々、場所を提供していただきました千成コミ
ュニティセンターの方、加藤旅館さん、ファシリテーターをしていただいたまちづくりびとの皆さん、本
当にありがとうございました。感謝して挨拶にさせていただきます。」



各受講生に修了証の授与のあと、主催の名古屋都市センター 青木参事より挨拶がありました。



「皆さま5回に亘る入門編の講座ご苦労様でした。

無事に修了証をお受け取りいただいたでしょうか。

この講座は、まちづくりのワークショップのファシリテーションスキルを学ぼうという目的となかまづくりをどのようにしたらいいのかという事が目的です。

これまでの皆さんのアンケートを拝見すると非常に好意的で“楽しかった・良かった”との回答が多く、辛口の批評がなかったので大丈夫かなと思っていましたが、本日の最終的な皆さんの感想を聞くと、多様な意見がある事が認識でき、中村区の新しい発見もありました。

さらに今後ボランティア活動に参加したいなどの意見もあり、いい成果があがったのかなと思います。

もう一つの感想で、グループで意見をまとめる難しさという話がありました。この講座が1つのきっかけとなり、まちづくりについて、場づくりや条件をつけてみんなで意見を出し合いまとめていくことが重要であり、その技法を学んでいただけたのではないかなと思います。それは、これからのまちづくりで役立つことでしょう。

今日この後、事務局から話があると思いますが、まちづくりびとの登録していただき、次へのスキルアップということで“ステップアップ講座”や“まちづくりサロン”など、まちづくりの活動をされている団体との情報交換の場、交流の場を都市センターではご用意しておりますので、更なるまちづくり活動へのご参加をお願い申し上げまして、ご挨拶にかえさせていただきます。」

最後に記念撮影をしました。



皆さん、本当にいい笑顔！お疲れ様でした！！

この講座を受講して学んだことやまちづくりへの関心を、引き続き“なかむら”や自分の住んでいる地域に活かしていただくことを期待しています。

講座は終了しましたが、引き続き懇親会を行いました。

講座をふりかえり、今後のまちづくり活動と話あったりするなごやかな雰囲気の中、講師の葛山さんが唄とギターを披露してくださいました。

曲目は「スタンド・バイ・ミー」と講座の内容を替え歌にした「上を向いて歩こう」。

受講生からのアンコールでスピッツの「空も飛べるはず」を披露していただき、皆は手拍子で楽しく親睦を深めました。

